

B 2024, APRIL  
[第2009回]  
🎵🎵

文学にも精通する、ロマン派作曲家の旗頭

# ローベルト・シューマン

Robert Schumann (1810–1856)

書店・出版業を営み、著述家でもあった父親のもと、シューマンは幼い頃から本に囲まれ、文学青年へと成長していく。作曲家としての活動のかたわら、1834年には音楽雑誌を創刊、自らも評論文を寄稿した。文学は常に身近にあり続け、《歌劇「ゲノヴェーヴァ」》では台本執筆にも携わった。個人の感情や自由の尊重、神秘的なものへの憧れを掲げたロマン主義音楽の代表的作曲家となるも、晩年は精神を患い、46歳で亡くなった。

## ローベルトと クララ

ピアニストの妻クララは、夫のオーケストラ作品の価値に確信を持っていたようで、日記には「私の一番の望みは、彼がオーケストラのために作曲すること——それこそ彼の本領なのだ！彼をそうしむけることができますように」と記している。演奏もピカイチなうえ、内助の功もできる妻。時代を代表する作曲家とピアニストであるシューマン夫妻は、双方に音楽的才能があふれすぎている最強カップルだ！



身重のクララ。  
さまざまな困難を乗り越えて結婚した2人  
イラストレーション: ©IKE